



学びの秋 2020

ICTを活用した授業を進めています。コロナ対策で子ども同士の話し合いも距離を取る必要があります、ICTを活用し学習支援ソフトで共有できるように工夫するなど、東小の授業の良さを生かしつつ、重点目標「伝え合い 認め合おう」を子どもの姿で追求しています。

5年生の算数授業では、それぞれの考えをタブレットからモニターに写し出し、その画面を説明しながら考えを深める授業を行っていました。子どもたちは、器用にタブレットを扱いながら説明していました。“習うより慣れろ”で、効率的で効果的な学習ができるよう取り組んでいきます。



体験活動の再開



しかし、小学生にとって実際に世の中の事象に触れ、体験することは貴重な時間です。安全に配慮し、可能な限り体験活動も再開していきます。2年生は「乗り物体験」のために事前にバスの乗り方を学ぶバス教室で、バスの乗降の仕方やバスの種類などを学習しました。低床バスの様子も観察できました。（写真左）

4年生は、漁業組合の皆さんを講師に「海藻おしば教室」で、海藻の種類や役割、磯焼けによる被害やそれを防ぐ取組などについて学び、実際におしばを制作しました。7月にマリン体験はできま



せんでしたが、御前崎の海の環境について学習することができました。
コロナ収束の先が見えない中、11月以降の行事についても当初の予定を変更しています。その都度、メール及びお便りにてお知らせいたしますが、御不明な点がございましたら、学校へお問い合わせください。

【地球環境史ミュージアム 化石展のお礼】

児童、職員以外に保護者の皆様、地域の皆様60名以上の方に御来場いただきました。また、地区の役員の皆様をはじめボランティアの皆様にご受付をしていただきました。本当にありがとうございました。

